

平和

「まなぶ」が自ら取り組む行動であるのに対して、「教わる」は人からしてもらい受け身の行動であるから。

受験番号

得点

100

生活のなかの身近な言葉を用いていないので、主体的に持続可能な社会に貢献するほかの様々なアイデアに結び付かず、「すくすく」という言葉の意味をばりさせることもできない、という問題。

製品などに、的に見出す

ことができる能力。

一小計

45

「平和」の反対語を、日常生活のなかで自分が経験してきた言葉で説明しようとすることにせず、平和に近づく方法を探すこと。

エ 拝見 地域 済 不断 美辞

イ イ ア ア オ

大会の結果がチーム全員の将来に影響することから思いきり投げよう、航太郎を焚きつけること。

決勝戦で自分が原よりいいピッチャーであること。自分

ア

分る決 ことに スカウトの 監督に示す可能性が あること。

大竹の言葉に一瞬の間を空けて返事をした息子

二小計

45

自分の将来を見据えて、菜々子の想像以上に

三小計

15

座右 承服 飼料 去就 貯水池

裏腹 比類 供述 移植 雑穀米

折半 揮発 追従 修養 借景